

## 第 19 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム SSC Symposium 2025

日 程	2025 年 2 月 15 日 (土) 9:15 ~ 17:25 ※ 8:45 より受付を開始いたします。
会 場	野村コンファレンスプラザ日本橋 (東京都中央区日本橋室町 2-4-3 日本橋室町野村ビル (YUITO) 6F 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A9 出口直結 徒歩 1 分) <a href="http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/">http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/</a> ※参加には事前参加登録が必要です。 参加登録期間：2024 年 12 月 18 日 (水) 正午～2025 年 3 月 17 日 (月) 詳細は学会ホームページ <a href="https://www.jsth.org/ssc-symposium/">https://www.jsth.org/ssc-symposium/</a> をご確認ください。 ※教育講演はオンデマンド配信のみ 2025 年 2 月 17 日 (月) ~ 3 月 17 日 (月) ※その他のプログラムはオンサイト開催のみ
会 長	内場 光浩 (熊本大学病院 輸血・細胞治療部)
参加費	会 員：3,000 円 非会員：5,500 円 大学院学生・初期研修医：1,000 円 大学生：無料 ※学生証／初期研修医の証明書を提出 ※参加費は抄録代を含む

### プログラム

#### 教育講演 (オンデマンド配信のみ)

- 領域：止血機能検査  
凝固検査の基礎と凝固機能評価法  
演者：松本 智子 (天理大学医療学部 臨床検査学科)
- 領域：血小板  
抗血小板薬と血小板機能検査  
演者：山崎 昌子 (千葉大学大学院医学研究院 人工知能 (AI) 医学)
- 領域：凝固・線溶系出血疾患  
後天性血友病 A の治療法  
演者：鈴木 伸明 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

(2)

4. 領域：凝固・線溶系血栓性疾患  
小児に起こる血栓症  
演者：萩原 建一（奈良県立医科大学 小児科）
5. 領域：DIC/TMA  
血栓性微小血管症の鑑別と診断ピットフォール  
演者：酒井 和哉（奈良県立医科大学 輸血部）

## 学術標準化委員会シンポジウム

### 1. DIC 部会（10:10～12:10）

テーマ：DICに関する新たな研究

座長：関 義信（新潟大学医歯学総合病院 血液内科）  
山川 一馬（大阪医科薬科大学 救急医学教室）

1. 報告事項：DIC 診療ガイドライン 2024 完成報告  
関 義信（新潟大学医歯学総合病院 血液内科）
2. 内科：
  - 1) 造血管悪性腫瘍由来 DIC で何が予後を改善していたか？今後の診断時の課題も含めた検討  
山田 隆, 関 義信（新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝学分野）
  - 2) DIC の病型分類からみた新規治療法の開発へーDIC モデルでの検討ー  
朝倉 英策<sup>1)</sup>, 山田 真也<sup>1)</sup>, 菅 幸生<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup> 金沢大学附属病院 血液内科, <sup>2)</sup> 金沢大学 医薬保健研究域 薬学系)
3. 救急：
  - 1) BENEDICT プロジェクト経過報告  
久宗 遼（大阪医科薬科大学 救急医学教室）
  - 2) DIC 診断における ICD-10 と実際の診断基準の整合性ーLOCOMOCO 事業よりー  
梅村 穰（大阪急性期・総合医療センター 救急診療科）
  - 3) 外傷性凝固障害における凝固制御機構  
和田 剛志（北海道大学大学院医学研究院 侵襲制御医学分野救急医学教室）
  - 4) 妊産婦の劇症型 A 群溶連菌感染症および敗血症性 DIC  
二井 理文（三重大学 産婦人科学教室）

### 2. 静脈血栓症／肺塞栓症部会（10:10～12:10）

テーマ：内科系入院患者に対する静脈血栓塞栓症予防の現状

座長：杉村 基（浜松医科大学産婦人科家庭医療学講座）  
山本 尚人（浜松医療センター 血管外科）

1. 浜松医療センターにおける内科系入院患者の VTE 予防の実情  
山本 尚人<sup>1)</sup>, 小林 隆夫<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup> 浜松医療センター 血管外科, <sup>2)</sup> 浜松医療センター 産婦人科)
2. 非周術期患者への静脈血栓塞栓症対策拡大と組織的モニタリング  
菊地 龍明（横浜市立大学附属病院 医療の質向上・安全管理センター 安全管理部）
3. 院内発症静脈血栓塞栓症予防のための QI プロジェクト  
小坂橋紀通（群馬大学医学部附属病院 循環器内科）

## 4. 当院における内科系患者の VTE 管理の現況

志賀 太郎 (がん研究会有明病院 腫瘍循環器・循環器内科)

## 5. 急性期脳卒中における深部静脈血栓症予防

永野 恵子<sup>1)2)</sup> (<sup>1)</sup> ハイメディッククリニック中之島, <sup>2)</sup> 大阪医療センター 脳神経内科)

## 6. 国内 VTE 予防ガイドラインと内科入院患者の VTE 予防における課題

荻原 義人<sup>1)</sup>, 佐藤 徹<sup>1)</sup>, 小林壮一朗<sup>1)</sup>, 佐々木典子<sup>2)3)</sup>, 兼兒 敏浩<sup>3)</sup>, 土肥 薫<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> 三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学, <sup>2)</sup> 三重大学医学部附属病院 薬剤部, <sup>3)</sup> 三重大学医学部附属病院 医療安全管理部)

## 3. 血栓溶解部会 (10:10 ~ 12:10)

テーマ：後天性線溶異常一病態の把握と病態の理解—

座 長：長尾 毅彦 (日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経内科)

内場 光浩 (熊本大学病院 輸血・細胞治療部)

1. クロット溶解時間を基盤とする PAI-1, TM/TAFI 及び  $\alpha 2$ -Antiplasmin 特異活性測定法：実臨床での予備検査結果と標準化への課題

浦野 哲盟<sup>1)3)</sup>, 岩城 孝行<sup>2)</sup>, 鈴木 優子<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> 浜松医科大学医生理学, <sup>2)</sup> 薬理学, <sup>3)</sup> 静岡社会健康医学大学院大学)

## 2. ClotPro を用いた後天性線溶異常の新たな診断アプローチ：臨床データに基づく病態把握と治療戦略

小網 博之, 阪本雄一郎 (佐賀大学附属病院 救急医学講座・高度救命救急副センター)

## 3. 大動脈瘤・血管奇形に合併した線溶異常亢進病態

山田 真也, 朝倉 英策 (金沢大学附属病院 血液内科)

## 4. 深部静脈血栓や出血性病態における線溶系因子の発現

山下 篤 (宮崎大学医学部 病理学講座構造機能病態学分野)

## 4. 血友病部会 (10:10 ~ 12:10)

テーマ：後天性血友病 A 診療ガイドライン改訂に向けて

座 長：武山 雅博 (国立病院機構大阪医療センター 血友病科)

松本 剛史 (三重大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)

## 1. 後天性血友病 A ガイドライン改訂の経緯

武山 雅博 (国立病院機構大阪医療センター 血友病科)

## 2. 診断パート

天野 景裕 (東京医科大学 臨床検査医学分野)

## 3. 免疫抑制療法の現状と課題

鈴木 伸明 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

## 4. 止血治療

野上 恵嗣 (奈良県立医科大学 小児科)

## 5. 出血予防・リハビリ

酒井 道生 (北九州安部山公園病院)

## 6. 総合討論

(4)

## 5. 血栓性素因部会 (13:20 ~ 14:50)

テーマ：遺伝性血栓症における適正診断のための問題点と対策

### 1. 凝固制御因子活性の標準化

座長：石黒 精 (国立成育医療研究センター)

1) 成人における AT, PS, PC 活性測定 of 標準化の道程

内藤 澄悦<sup>1)</sup>, 家子 正裕<sup>2)</sup>, 大村 一将<sup>3)</sup>, 森下英理子<sup>4)</sup>, 日本 PCI 標準化 WG<sup>5)</sup> (1) 北海道科医療大学病院 臨床検査部, 2) 札幌保健医療大学保健医療学部看護科, 3) 北海道医療大学歯学部内科学分野, 4) 金沢大学医薬保健研究域保健学系病態検査学, 5) 日本凝固制御因子標準化ワーキンググループ)

2) 小児における AT, PS, PC 活性測定 of 標準化の取り組み

野上 恵嗣, 荻原 建一 (奈良県立医科大学 小児科)

### 2. 凝固制御因子活性の測定におけるピットホールとその対策

座長：荻原 義人 (三重大学 循環器内科)

1) 抗凝固薬が凝固制御因子活性に及ぼす影響

長屋 聡美<sup>1)</sup>, 寺上 貴子<sup>2)</sup>, 森下英理子<sup>1)3)</sup> (1) 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 保健学専攻 病態検査学, 2) 金沢大学附属病院 検査部, 3) 金沢大学附属病院 血液内科)

### 3. Discussion part：遺伝性血栓症を診断基準を再考する

座長：辰巳 公平 (奈良県立医科大学 血栓止血先端医学)

家子 正裕 (札幌保険医療大学 保険医療学部)

1) 基調講演「遺伝性血栓症の診断基準の問題点」

森下英理子 (金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 保健学専攻 病態検査学)

2) Discussion：①臨床症状, ②検査結果：年齢・性差の考慮, ③遺伝子検査, ④その他

## 6. HIT/抗 PF4 抗体疾患部会 (13:20 ~ 14:50)

テーマ：抗 PF4 抗体疾患とともに HIT を振り返る

座長：土井 洋平 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学)

### 1. HIT/抗 PF4 抗体疾患の Up To Date

安本 篤史 (北海道大学病院 検査・輸血部)

### 2. 抗 PF4 抗体疾患 (亜型 HIT) の経験

2-1. 症例 1：重症外傷後に発症した HIT 症例

高橋 悠希<sup>1)</sup>, 早川 峰司<sup>2)</sup> (1) 砂川市立病院 救命救急センター, 2) 北海道大学病院 救命救急センター)

2-2. 症例 2：アデノウイルス感染症罹患後に脳静脈洞血栓, 血小板減少症を発症し, 抗 PF4 抗体が原因と考えられた 1 例

永井 康平<sup>1)</sup>, 三谷 忠宏<sup>1)</sup>, 川原 勇太<sup>1)</sup>, 小熊 啓文<sup>2)</sup>, 五味 玲<sup>2)</sup>, 安本 篤史<sup>3)</sup>, 田島 敏広<sup>1)</sup>, 村松 一洋<sup>1)</sup>, 小坂 仁<sup>1)</sup> (1) 自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児科, 2) 自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児脳神経外科, 3) 北海道大学病院 検査・輸血部)

2-3. 症例を振り返る (討論)

安本 篤史<sup>1)</sup>, 高橋 悠希<sup>2)</sup>, 早川 峰司<sup>2)</sup>, 永井 康平<sup>3)</sup> (1) 北海道大学病院 検査・輸血部, 2) 北海道大学病院 救急部, 3) 自治医科大学附属病院 小児科)

### 3. HIT/抗 PF4 抗体疾患：日本における変遷と今後の課題

和中 敬子<sup>1)2)</sup>, 宮下久美子<sup>1)2)</sup> (1) 血栓止血研究プロジェクト, 2) 神戸総合医療専門学校)

## 7. 凝固線溶検査部会・凝固系／抗凝固療法部会① (13:20～14:50)

テーマ：凝固波形解析 (CWA)

座長：松本 智子 (天理医療大学医療学部 臨床検査学科)

徳永 尚樹 (川島病院 検体検査技術科)

- 2023年SSCの活動費によるAPTT-CWAの標準化のための検討：中間報告  
松本 智子 (天理大学医療学部 臨床検査学科)
- 凝固反応曲線の機械学習を用いた解析による直接型経口抗凝固薬低濃度を予測する指標の探索  
山崎 昌子<sup>1)</sup>, 熊野 穰<sup>2)</sup>, 嶋崎 悠斗<sup>3)</sup>, 川上 英良<sup>1)</sup>, 伊藤 隆史<sup>4)</sup>, 近藤 真樹<sup>5)</sup>, 藤森 祐多<sup>6)</sup>, 涌井 昌俊<sup>7)</sup>, 家子 正裕<sup>8)</sup>, 橋口 照人<sup>9)</sup> ( <sup>1)</sup> 千葉大学大学院医学研究院 人工知能(AI)医学, <sup>2)</sup> 国立研究開発法人産業技術総合研究所 健康医工学研究部門, <sup>3)</sup> 千葉大学医学部, <sup>4)</sup> 熊本大学大学院生命科学研究部 血液免疫病態解析学講座, <sup>5)</sup> 東京女子医科大学病院 中央検査部, <sup>6)</sup> 慶應義塾大学病院 臨床検査科, <sup>7)</sup> 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学, <sup>8)</sup> 札幌保健医療大学 保健医療学部 看護学科, <sup>9)</sup> 鹿児島大学大学院 院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野)
- 実臨床のためのCWAパラメータの意義の検証  
涌井 昌俊 (慶應義塾大学医学部 臨床検査医学)
- 修飾型・応用型CWAの現状と展望  
和田 英夫 (三重県立総合医療センター)

## 8. VWD/TMA 部会 (13:20～14:50)

テーマ：von Willebrand 病の診断向上を目指して、課題と今後の取り組みを考える

座長：八木 秀男 (奈良県総合医療センター 血液腫瘍内科)

野上 恵嗣 (奈良県立医科大学 小児科)

- 本邦VWD診療のガイドラインからの観点から  
日笠 聡 (兵庫医科大学 血液内科)
- 出血症状の観点から  
長尾 梓 (荻窪病院 血液凝固科)
- VWF マルチマーの観点から  
齋藤 健貴, 酒井 和哉 (奈良県立医科大学附属病院 輸血部)
- VWF 遺伝子解析の観点から  
萩原 建一 (奈良県立医科大学 小児科)
- 追加発言：遺伝子解析の新たな取り組み  
小亀 浩市 (国立循環器病研究センター分子病態部)

## 9. 抗リン脂質抗体部会 (15:00～16:30)

テーマ：臨床を見据えた抗リン脂質抗体の標準化

座長：奥 健志 (北里大学医学部 リウマチ膠原病・感染内科学)

藤枝雄一郎 (北海道大学病院 リウマチ腎臓内科)

- 希釈ラッセル蛇毒時間4試薬における患者検体を用いた比較検証  
徳永 尚樹<sup>1)</sup>, 内藤 澄悦<sup>2)</sup>, 山崎 哲<sup>3)</sup>, 下村 大樹<sup>4)</sup>, 叶内 和範<sup>5)</sup> ( <sup>1)</sup> 社会医療法人川島会 川島病院 診療技術部 検体検査技術科, <sup>2)</sup> 北海道医療大学病院 臨床検査部, <sup>3)</sup> 聖マリアンナ医科大学病院 臨

(6)

床検査技術部,<sup>4)</sup> 天理よろづ相談所病院 臨床検査部,<sup>5)</sup> 山形大学医学部附属病院 検査部)

2. ELISA 以外の原理に基づく抗リン脂質抗体測定値の ELISA 相当値への換算と診断的閾値の検証  
本木由香里, 金重 里沙, 野島 順三 (山口大学大学院医学系研究科保健学専攻)

3. ループスアンチコアグラント半定量法の確立と臨床応用の可能性

藤枝雄一郎<sup>1)</sup>, 井上 雄太<sup>1)</sup>, 久田 諒<sup>1)</sup>, 家子 正裕<sup>2)</sup>, 渥美 達也<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup> 北海道大学大学院医学院・  
医学研究院 免疫・代謝内科学教室, <sup>2)</sup> 札幌保健医療大学 保健医療学部 看護学科)

4. 特別講演 不育症のオーバービュー

杉浦 真弓 (名古屋市立大学医学部 産科婦人科)

#### 10. 凝固線溶検査部会・凝固系／抗凝固療法部会② (15:00 ~ 16:30)

テーマ1：自己免疫性後天性凝固因子欠乏症

座長：小川 孔幸 (群馬大学医学部附属病院 血液内科)

橋口 照人 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学)

1. ループスアンチコアグラント合併自己免疫性凝固因子欠乏症のパラドックスに迫る

家子 正裕 (札幌保健医療大学保健医療学部 看護学科)

2. 自己免疫性凝固因子欠乏症を診断する上での注意点

朝倉 英策 (金沢大学医学部附属病院 血液内科)

テーマ2：抗凝固療法中の凝固線溶検査の変動要因に迫る！

座長：山崎 昌子 (千葉大学大学院医学研究院 人工知能 (AI) 医学)

伊藤 隆史 (熊本大学大学院生命科学研究部 血液免疫病態解析学)

1. 救急集中治療領域における抗 Xa 活性を利用したヘパリンモニタリング

早川 峰司 (北海道大学病院 救命救急センター)

2. 凝固異常検体における各種 APTT 試薬のアルガトロバンに対する感受性

熊野 穰<sup>1)</sup>, 家子 正裕<sup>2)</sup>, 橋口 照人<sup>3)</sup>, 伊藤 隆史<sup>4)</sup>, 山崎 哲<sup>5)</sup>, 内藤 澄悦<sup>6)</sup>, 山崎 昌子<sup>7)</sup>

(<sup>1)</sup> 国立研究開発法人産業技術総合研究所 健康医工学研究部門, <sup>2)</sup> 札幌保健医療大学保健医療学部 看護  
学科, <sup>3)</sup> 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野, <sup>4)</sup> 熊本大学大学院生命科学研究  
部 血液免疫病態解析学講座, <sup>5)</sup> 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査技術部, <sup>6)</sup> 北海道医療大学病院 臨  
床検査部, <sup>7)</sup> 千葉大学大学院医学研究院 人工知能 (AI) 医学)

3. LC-MS/MS による DOACs の血中濃度定量

中川 央充<sup>1)</sup>, 藤森 祐多<sup>1)</sup>, 橋口 照人<sup>2)</sup>, 家子 正裕<sup>3)</sup>, 熊野 穰<sup>4)</sup>, 山崎 昌子<sup>5)</sup>, 涌井 昌俊<sup>6)</sup>

(<sup>1)</sup> 慶應義塾大学病院 臨床検査科, <sup>2)</sup> 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野,

<sup>3)</sup> 札幌保健医療大学保健医療学部看護学科, <sup>4)</sup> 国立研究開発法人産業技術総合研究所 健康医工学研究部  
門, <sup>5)</sup> 千葉大学大学院医学研究院 人工知能 (AI) 医学, <sup>6)</sup> 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学)

#### 共催セミナー

##### コーポレートセミナー (15:00 ~ 16:30)

1. 1) ガイドラインに書いていないテイラーメイドレジメンのススメ

座長：野上 恵嗣 (奈良県立医科大学 小児科)

演者：藤井 輝久 (広島大学病院 輸血部)

2) ガイドラインに書いてあるフォン・ヴィレブランド病診療のススメ

座長：野上 恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）

演者：萩原 建一（奈良県立医科大学 小児科）

共催：武田薬品工業株式会社

2. 1) 後天性血友病 A 診療の Overview —最新 Trends と Breakthroughs—

座長：武山 雅博（国立病院機構大阪医療センター 血友病科）

演者：備後 真登（東京医科大学 臨床検査医学分野）

2) 当院における後天性血友病 A の診療経験

座長：武山 雅博（国立病院機構大阪医療センター 血友病科）

演者：兼松 毅（名古屋大学医学部附属病院 検査部）

共催：KM バイオロジクス株式会社 / 一般社団法人 日本血液製剤機構

モーニングセミナー（9:15 ～ 10:00）

1. ヘムライブラの有効性と安全性～エビデンスをアップデートする～

座長：松下 正（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）

演者：木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野）

共催：中外製薬株式会社

ランチョンセミナー（12:25 ～ 13:10）

1. 多様化する出血予防治療

座長：木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野）

演者：鈴木 伸明（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）

共催：ファイザー株式会社

2. わが国における遺伝子治療の最新動向

座長：嶋 緑倫（奈良県立医科大学）

演者：米満 吉和<sup>1)2)</sup> (1) 九州大学大学院薬学研究院 バイオ医薬創成学, <sup>2)</sup> 一般社団法人日本遺伝子細胞治療学会)

共催：CSL ベーリング株式会社

3. 凝固波形解析に基づく出血性疾患の解析と今後の臨床的応用の発展への展望

座長：森下英理子（金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 保健学専攻 病態検査学）

演者：野上 恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）

共催：積水メディカル株式会社

4. 血友病 A 治療はどう変わる？～最新知見を基に再考する～

座長：長江 千愛（聖マリアンナ医科大学 小児科）

演者：溝口 洋子（広島大学病院 小児科）

共催：サノフィ株式会社

イブニングセミナー（16:40 ～ 17:25）

1. 血友病治療におけるコンシズマブの使い方を考える

座長：天野 景裕（東京医科大学 臨床検査医学分野）

演者：長江 千愛（聖マリアンナ医科大学 小児科学講座）

共催：ノボノルディスク ファーマ株式会社

2. 血友病とアドボカシー—アンメット・ニーズへの対応—

(8)

座長：深野 玲司（産業医科大学 小児科学教室）

演者：西田 恭治（国立病院機構 大阪医療センター 血友病科／感染症内科）

共催：藤本製薬株式会社

3. 慢性 ITP の治療戦略—Syk 阻害薬 タバリス錠の使いどころ—

座長：山之内 純（愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

演者：藤巻 克通（藤沢市民病院 血液内科）

共催：キッセイ薬品工業株式会社